

# 図書館だより

Information Wave No.27 2016年

第27号 2016年9月20日発行

関西福祉大学図書館

〒678-0255 兵庫県赤穂市新田380-3 Tel.0791-46-2506 Fax.0791-46-2535



## 図書館長 森川直先生 追悼号

### 哀悼 森川直先生

関西福祉大学  
発達教育学部 教授 菅原 稔

ペスタロッチーのシュタンツだより  
—クラフキーの解釈付き— 改訂版



著者：ヴォルフガング・クラフキー（著）  
森川直（訳）  
出版社：東信堂  
発行年月：2004年6月

森川直（もりかわ・なおし）先生とお会いできなくなってから、もう数か月が経つ。隣どうしの研究室ということもあって、お互いが在室している姿を見ると声を掛け合い、よもやま話に花を咲かせることが何よりの楽しみであった。

先生が昭和20年1月生まれ、私が昭和21年9月生まれと年齢の近いこともあって、共通の話題に時間を忘れることも多かった。

私が一番に先生に教えていただいたのは、ご専門の教育学の祖・ペスタロッチーのことそして、留学時代に学ばれたドイツ教育学の深さ・広さであった。それは、「人間の学としての教育学」という視点はもちろんのこと、「学問の根底としての教育学」、「哲学の母体としての教育学」という考え方に貫かれたものであった。言い換えれば、最近の教育学が陥りがちな、皮相な方法論・技術論への警鐘でもあった。

先生との歓談は、ときに数時間に及ぶこともあったが、いつも笑顔で優しく、楽しいものであった。「今日は岡山の自宅から車で来ました。車を運転して帰るから時間を気にしなくてもいいですよ。」「車の運転が趣味のようなものだから。」と、元気な元気な先生であった。しかし、いつのころからか、少し疲れたようなご様子を拝見するようになった。いつも笑顔で、にこやかに「もう年齢だからでしょうね。」と言われていたが、今思えば、あそこから病魔が忍び寄っていたのかもしれない。

森川直先生、貴方と初めて出会わせていただいたから、もう40年近い年月が経ちました。長い長い間、本当にいろいろと、ありがとうございました。今は、ご郷里の石川県津端、青春時代を過ごされた金沢、東京、広島、そして忘れられない岡山と赤穂……の後輩を見守ってくださっていることと存じます。

ほんとうに、ありがとうございました。

どうぞ、どうぞ、これからも、残された私たちを見守ってくださいますように。よろしく願いいたします。



# 近刊著書

## 「開く」授業の創造による授業改革から カリキュラム・マネジメントによる学校改革へ



学長/発達教育学部 教授 **加藤 明**

著者：加藤 明  
出版社：文溪堂  
発行年月：2016年8月

開く授業とは、子ども達の前にこれまで見えなかった世界を開きながら、開き方を教えてやること。そして子ども達が新しい世界を開きながら、開く手応え、学ぶ手応えを味わいながら自分の可能性を開く、そのプロセスそのものを内容とする授業であり、アクティブ・ラーニングを超える授業の創造でもあります。

このような授業創りの方法を具体的に示したのが本書です。

## 絵本仕立て 割合がわかる本



学長/発達教育学部 教授 **加藤 明**

著者：加藤 明  
出版社：文溪堂  
発行年月：2016年9月

この薬を飲めば30パーセント痩せます。でも痩せすぎてみんなが心配してくれたので、今度は30パーセント太る薬を飲みました。元々の体重には戻りませんでした。どうしてでしょうか。

このような算数の学習の中でもっとも難しい内容である「割合」の学習について絵本仕立てで視覚的に、分かりやすく解説したのが本書です。

子ども達だけでなく、お母さんや先生方にも読んでもらいたいと願って創りました。

## パンデミック症候群 — 国境を越える処方箋 —

社会福祉学研究科 研究科長・教授 **勝田 吉彰**



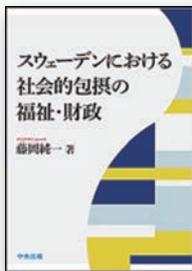
著者：勝田 吉彰  
出版社：エネルギーフォーラム  
発行年月：2015年8月

日本人の海外渡航者数 1850万人、海外に住む日本人数 129万人。グローバル化とともに、増える一方のこの数字は国境の向こうで健康リスクにさらされる人の数が激増していることを示します。さらにエボラ・MERS・ジカウイルス感染症がメディアを騒がせているように、国境を越えて入ってくる疾患は日本国内にいても身近な脅威です。実際に筆者が前職の外務省医務官としてアフリカやアジアで 12 年間の海外勤務をするなかで、体調を崩したり、「あわや」という目にあう日本人の方々を多数見てきました。

本書ではこのような国境を越える健康リスクについて一般向けにわかりやすく解説し、さらに国境を越える人々の身を守る術について示しています。具体的には MERS やデング熱など最近話題の感染症・旅行者下痢症など海外で出会う定番の病気・多文化メンタルヘルス・海外の医療事情・社会事象・そして具体的に情報を集める方法や身を守る方法について解説しています。

## スウェーデンにおける社会的包摂の 福祉・財政

社会福祉学部 教授 **藤岡 純一**



著者：藤岡 純一  
出版社：中央法規  
発行年月：2016年 6月

この本は私の長年のスウェーデン研究の成果をまとめたものである。スウェーデンは福祉国家として知られている。すべての居住者（移民者を含む）に対して、高い社会サービスが提供され、育児・介護・疾病休業に対して高い割合の給付が支給される。しかし何よりも重要なことは、子どもや高齢者を除いてほとんどの人が働いていることである。しかも日本のような正規就業者と非正規就業者との給与の差はない。たとえパートでも職種が同じであれば時間給は同じである。男女平等も他の国よりも進んでいる。

そのようなスウェーデンにおいてもいくつかの問題が発生している。インフォーマル介護者の負担増、障害者や長期病気休業者の労働への包摂、そして難民を含む多数の移民者の入国である。本書では、スウェーデンの福祉国家と社会サービスの質の向上とともに、これらの新しい問題にどのように対処しているかを明らかにした。あわせて持続可能な財政について述べた。

## 福祉・栄養・看護のための社会福祉論

社会福祉学部 講師 **萬代 由希子**



著者：赤木 正典、平松 正臣(編著)、  
岩間 文雄、萬代 由希子(ほか共著)  
出版社：建帛社  
発行年月：2016年2月

本書は、福祉職のみならず幼稚園教諭、保育士、栄養士、看護師等の専門職を目指す人を広く対象とした、社会福祉の基本的な価値・知識・技術が総じて学べるように構成されているテキストである。本書の特色はただ単に知識を身に付けるだけでなく、援助技術を理解し実践力を高められるように構成を工夫している点である。また、初学者であっても理解しやすいように、図表や用語解説をふんだんに加えている。

全12章のうち、社会福祉の総論(第1~4章)、各論(第5~12章)で構成されており、本学教員の担当箇所は次の通りである。赤木教授「社会福祉の法律と制度(第4章)」・「貧困と社会福祉(第5章)」・平松教授「現代と社会福祉(第1章)」・「社会福祉の基礎理解(第2章)」・岩間教授「医療福祉(第12章)」・萬代「障害者の福祉(第8章)」。

本書が活用され、福祉の担い手の裾野が広がり、支援の質が向上されることを期待している。



## 新しい日本の歌7

発達教育学部 教授 古瀬 徳雄



著者：古瀬 徳雄(作曲)  
出版社：マザーアース  
発行年月：2015年11月

ひょうご日本歌曲の会「新しい日本の歌7」(兵庫県立芸術文化センター)で初演された3曲が楽譜となったものである。柴田実の「あじさい」「在ることの悲しみ」「黄昏」の3詩とも、整った歌曲形式としてまとめられる構成となっているが、それを避けて作曲した。思考や情感を蓄えた、たったひとつのことばが、すべてを説明できるとは限らな

い。その音の在り方を探し続けることで、詩句が音たちとともに生成し空間となっていく。

「あじさい」の感性は24の長調と短調の音色パレットから変イ長調を採り、葉脈を落下する水滴を追いかけた。

「在ることの悲しみ」では、いのちあるものの絶頂と喪失という自然の摂理を基底とし、痛みも悲しみもすべて、肯定し人生を愛することになった時、まわりに放たれるひかりと捉えた。

「黄昏」の一日の終焉に向かう燃えたぎる夕陽を、人生の成熟として、詩がもつ言葉を越えた詩想と、内包する楽想から音を割り出し、それらを融合させ、詩句の世界を押し広げたつもりである。冒頭の半音のふつかりを起点とし、直後の f-fis-h-c、f-g-b-e の各4音の音列に刻まれる減音程をモチーフとして、詩句に忠実に対応する有機的な音程として展開した。終結部においてこの2音列は、むき出しではなく、高音域と低音域の2層に囲みこみ、あらゆる世界に包まれて、変容していく過程を想起させた。

## つながる・つなげる障害児保育 — かかわりあうクラスづくりのために —

発達教育学部 講師 原子 純



著者：七木田 敦、松井 剛太(編著)  
原子 純(ほか共著)  
出版社：保育出版社  
発行年月：2015年8月

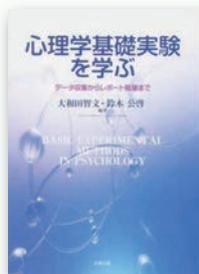
2007年、小中学校で特別支援教育が開始されました。当初は、小中学校はもとより、保育所・幼稚園の実践の場でも、「気になる子ども」「配慮が必要な子ども」「発達障害」などの言葉が飛び交い、実践に混乱が生じていま

した。その後、国のみならず、地方の市町村でも、障害のある幼児や発達障害への理解が進み、速やかな対応が可能になっています。当初は戸惑いがみられた保育所・幼稚園にも、配慮が必要な子どもの保育実践の蓄積がなされています。それをふまえ、保育者養成でも具体的な指導例を学ぶ機会が増えてきています。

本書は、発達障害のある子どもの保育について、実践に役立つ事例も盛り込みながら解説しています。各章のはじめにポイントやキーワードをふまえた予習ができ、章末では学習した内容を振り返ることができます。さらに、巻末では課題やグループ学習などを設け、随所に自分で考え学べるような構成となっています。

## 心理学基礎実験を学ぶ —データ収集からレポート執筆まで—

発達教育学部 准教授 大和田 智文



著者：大和田 智文、鈴木 公啓(編著)  
出版社：北樹出版  
発行年月：2016年2月

本書は、心理学領域の基礎科目である「心理学基礎実験」で、受講者が何を学んだらよいかを具体的に分かりやすく適切に提示することをめざして出版された書籍である。各実験テーマについての学問的背景を理解したうえで、テーマに沿った実験を実施してデータを収集し、集計結果を示し、必要な統計処理を行い結果を考察し、最終的にレポートにまとめて提出するまでの一連の作業をスムーズに行えるよう、さまざまな工夫を凝らしている。

全体は18章で構成されている。第1章では、心理学における実験の位置づけやその必要性について、第2章から第17章までは各実験テーマについて、第18章ではレポートを執筆する際の留意点について述べられている。

心理学の初学者にとって、「心理学」と「実験」とはなかなか結びつきにくいものと思われるが、本書はそのような初学者が、「心理学」と「実験」をうまく結びつけたうえで、「実験」をスムーズに経験することができるように編まれている。さらには、「心理学基礎実験」を担当する先生方が授業の手びきとして活用されることにも耐えうるよう留意している。本書をひとりでも多くの方が手にされ、そこから「心理学」や「実験」の楽しさを発見したり、新たな研究課題を創出することに繋がれば嬉しく思う。

## 看護学原論 看護の本質的理解と 創造性を育むために 改訂第2版

看護学部 准教授 藤井 可苗



著者：高橋 照子(編集)  
藤井 可苗(ほか共著)  
出版社：南江堂  
発行年月：2016年1月

本書は、看護・看護学を原理的・本質的に理解してもらえよう、初学者が「看護学」を学び、看護職者となることに誇りをもって歩んでいくための第一歩に、確かな基盤を与えられることを目的にしています。「看護とは何か」「看護職者は何をする人なのか」

「看護学とはどのような学問なのか」などの原理を明らかにし、看護を学び始める学生が分かりやすくなるようにという方針で記されています。しかしながら、看護実践に携わる人たちが、原点に立ち返り「看護」を考えるためにも役立てていただきたい一冊です。紹介者は、第2章6節を担当しています。

看護職者になるためには、多くの学習を必要とします。健康問題にかかわる医学的な知識や、それを具体的に展開するための看護技術は不可欠だからです。しかし、看護ケアの質は、看護する者の質に左右されるといわれるように、看護職者のもつ人間性が重要です。温かい人間性豊かな看護が提供できるよう、「看護の心」と出会うきっかけになっていただければと願っています。

# 新任教員による 著書紹介

# 新任教員による おすすめ本

## 「家庭団欒」の教育学

－多様化する家族の関係性と家庭維持スキルの応用－

発達教育学部 准教授 廣 陽子



著者：鈴木 昌世(編著)  
廣 陽子(ほか共著)  
出版社：福村出版  
発行年月：2016年6月

この本は、家族の関係が多様化している現在、家庭教育が様々な方向へ進んでいることに課題を持ち、長い歴史を経て作られた良き日本文化の継承や日本での家族団欒の意味、そして、これからの新しい家族の在り方を考えさせられる書籍です。決して、こうあるべきだ！と断定はしていません。現在の日本において応用可能な【家庭維持スキル】を提案しています。昔の良き時代に戻ることができないことを踏まえ、若者には少し考えさせられる部分もあり、今後、結婚し新しい家族を作ろうとしている方、現在家族をお持ちの方に、家族のあるべき姿が導かれていくように思います。さらに読み進めると、子育てに必要なものや、文化継承者の一人である日本人としての責任の重さにも気づくことと思います。

家族というものを改めて考え、さらには「家族団欒」という側面から見えてくるものを、様々な角度から述べています。家族って何だろうと改めて考えていただければ幸いです。

## 教えるということ

発達教育学部 教職支援室 准教授 石原 義行



著者：大村 はま  
出版社：共文社  
発行年月：1973年11月

教師を志す人は是非読んで欲しい本です。

52年間一教師を貫かれた大村はま先生が、自身の実践をもとに新任教師に語りかけた言葉に、推敲を重ねて仕上げられたものです。私自身、この機会にもう一度、読み返しましたが今の若者にも大きく心に響くと思います。

教師の志望動機を書く前には是非読み上げ、教師になるとはどういうことなのか、子どもを教えるとはどういうことなのか、整理をすれば教職への思いが増幅すると思います。

教育にかかわる人をはじめ、教育に関心をもつ人々、教師になろうとする人は必読です。教育に取組む姿勢について、きびしくかつ暖かく語っておられます。話し言葉で書かれているので、読みやすく、また、内容もわかりやすいです。

## 根拠がわかる疾患別看護過程

－病態生理と実践がみえる関連図と事例展開－改訂第2版

看護学部 教授 掛田 崇寛



著者：新見 明子(編集)  
掛田 崇寛(ほか共著)  
出版社：南江堂  
発行年月：2016年3月

看護職者は臨床患者の状況を的確に捉えながら、日々刻々と変化する病状に応じたケア計画及び看護実践を行っていく必要がある。一方、看護学生や経験年数の浅い看護職者にとって、患者の状況を把握し、臨床推論を行いながら系統的に看護することに困難を感じる者も多い。本書では疾患別に、それぞれの病態に即した看護過程の展開例及び関連図も交えながら学習できるように構成されている。臨地実習前の事前学習や入職直後の自己学習用テキストとして一度手にされてはいかがであろうか。

## かくれた次元

看護学研究科 研究科長・教授 小野 ミツ



著者：エドワード・ホール(著)  
日高 敏隆(訳)、佐藤 信行(訳)  
出版社：みすず書房  
発行年月：1970年10月

ホールは、人々がお互いにどのような位置に立っているかで、彼らの関係や、また彼らがお互いに抱き合う感情が分かり、人々がそのときお互いにどのような気持ちを抱き合っているかが、用いられる距離をきめる要素となることを明らかにしています。

われわれは、日常生活の中で、対人距離を上手に使って生活しています。ホールは、距離のとり方には、密接距離、固体距離、社会距離、公衆距離の4つがあること、看護や福祉職など人とかかわる仕事をする人は、対人距離について学ぶ必要があると述べています。

私は、介護者と要介護高齢者との距離のとり方について調査を行いました。その結果、介護者の中で、放任など不適切なケアをしている介護者は、高齢者と上手に距離がとれていませんでした。向かい合うこと、あわないこと、異文化間でのコミュニケーションをとる位置は文化により異なるなど対人距離の意味が分かりやすく述べられています。

## 生きる意欲を支える先生

看護学部 准教授 中島 敦子



著者：真仁田 昭  
出版社：図書文化社  
発行年月：1987年9月

教員や子育て中の人は、生身の対象と向き合って疲れ果ててしまうことがよくあると思います。特に子供は自分の思い通りにならないのが常で、教員として一生懸命にやろうとすればするほど深みにはまって、落ち込んでしまうこともしばしばです。子供を教育し援助していく教員にとって、自己の心身の健康を保持していくことも大切な要素ですが、子供のよい部分を如何に見つけ出し再生を支援できるかは、大変重要な点であると思います。

多くの子供には「よし、今度こそは」という気持ちがありますが、それを表現できる子供もいれば、表現できなかつたりしない子供もいます。しかし、子供はその気持ちを秘めているのです。私は、学校現場でそのような子供たちによく出会いました。教員や教員を目指す学生さんには、そのような子供の特徴を理解することがとても大切だと考えます。この本はその気付きを手助けしてくれる一冊だと思えます。

## 障害をもつ子が育つということ

—10家族の体験—

看護学部 講師 室谷 実愛



著者：野辺 明子、加部 一彦、  
横尾 京子、藤井 和子  
出版社：中央法規  
発行年月：2008年6月

この本は、「障害をもつ子を産むということ -19人の体験-」の続編として出版され、産院や NICU を退院した赤ちゃんが小学校に入学するまでの地域での暮らしについて 10 家族の体験を記したものです。

最後には、看護師・医師・ソーシャルワーカーの専門職の立場からも執筆されています。新生児医療の問題、生育と成育のはざまを乗り越えること、専門家の心ない言動、医療者のパターンリズム、きょうだい・父親への支援、障がいを持つ子どもと家族を地域社会で支えることなどへの示唆が記されています。また、それらは医療者の日々の言動の振り返りの一助にもなると思います。

「障がいをもつ子が育つ」ことを通して、私自身多くのことに気づかされています。「障がいをもつ子が育つ」「障がいを持つ子を育てる」という家族の体験から子どもと家族が、成長すること、そして生きるということを深く考えることができ一冊であると思えます。

## 地域包括ケアってなあに?地域で見守る認知症

—砂川モデルを全国へ—

看護学部 助教 永谷 温幸



著者：内海 久美子  
出版社：医学と看護社  
発行年月：2016年3月

保健、医療、福祉分野における日本の施策として、重度要介護状態となっても「住まい」、「医療」、「介護」、「予防」、「生活支援」が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築が推進されています。この本では北海道砂川市で行われた地域包括ケアの一例が分かりやすく紹介されています。国による「認知症疾患医療センター」の設置に先立ち砂川市立病院では地域包括ケアの一環として「もの忘れ専門外来」を開設し、認知症の啓発や介護職支援に取り組み、医療と介護の連携を進めています。昨年 11 月からはインターネットで市役所、保健センター、市立病院、各医療機関や各介護関連施設において情報共有する「みまもりんく」が稼働しています。その他、これまでの砂川市の地域包括ケアへの取り組みは、全国各地域における地域包括ケア実現のための心強いモデルとなるので皆さんにぜひ一読をお勧めします。

## 救命—東日本大震災、医師たちの奮闘—

看護学部 助手 高岡 宏一



著者：海堂 尊(監修)  
出版社：新潮社  
発行年月：2011年8月

東日本大震災が起きたとき、私は非常勤で赤穂市民病院の救命センターで働いていました。実際に地震があった際に、一緒に働く同僚たちが DMAT として被災地に向かう姿をみて、救急医療に求められている役割を痛感したことを覚えています。本書の内容は、実際に震災を通してのドキュメントが記載されています。自分が被災者になったときに、個人として、医療者としての葛藤や倫理の問題にどのように対処していくかを考えさせられる内容です。災害大国・日本で医療・福祉・教育の仕事を目指す私たちに、いつ出会うかわからない問題に対して、少しでも普段から考える機会になる一助になればと考え、この本を推薦書として提示させていただきます。

## ちょっとだけ

看護学部 助手 城塚 映里子



著者：瀧村 有子  
出版社：福音館書店  
発行年月：2007年11月

この本は、感動する絵本 10 選などにも選ばれています。ストーリーは、赤ちゃんがうまれてお姉さんになった主人公が、ママを助けようと幼いなりに奮闘する姿が描かれています。子ども目線で描かれており、子どもの健気な姿の描写が繊細かつ現実的なのが、読む人々の日常に自然と溶け込ませていると思います。お姉さんになったことで感じる切なさやそれを乗り越えることで成長していく子どもの姿、そして母親が深い愛情を注ぎ続けている姿は、皆さんの日常とも重なるのではないのでしょうか。

この本は私が 2 人目を出産したときに戴いたものでした。内容と自分の状況が重なり、読む度に涙腺が緩みます。子育て中に限らずどの世代でも、多忙な日常の中においても身近な大切な人を「想いやる」気持ちを募らせてくれる 1 冊です。短時間で読めますし、是非手にとってみてください。

# 学生選書を実施しました

学生選書とは、学生の目線で図書館に置く本を選ぶという企画です。  
特におすすめの本を紹介します。



## 見て分かる困り感に寄り添う支援の実際 —通常の学級に学ぶLD・ADHD・アスペの子どもへの手立て—

社会福祉学部 3年 大野 恵梨華

〈学生作成POP〉

著者：佐藤 暁  
出版社：学研  
発行年月：2006年10月

現在は、通常の小中学校の児童生徒の約6%が発達障害であるといわれている時代です。しかし子どもたち1人1人の困り感に合わせた支援や教育は難しいと言われています。そこでその具体的な支援をどのようにしたらよいか分かる本です。

教師を目指す人にも、スクールソーシャルワーカーを目指す人にも、特別支援教育に興味がある人にも、オススメの発達障害児の困り感とその支援方法が分かる1冊です。



## 菊池先生の「ことばシャワー」の奇跡 —生きる力がつく授業—

発達教育学部 2年 橋本 壮一郎

〈学生作成POP〉

著者：菊池 省三、関原 美和子  
出版社：講談社  
発行年月：2012年10月

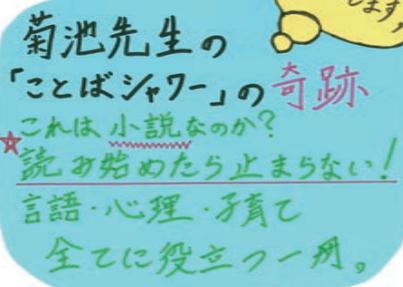
当たり前のように使うことばを見直すことは、当たり前だけど大切なこと。

NHKの「プロフェッショナル 仕事の流儀」など、数々の番組で紹介された奇跡の学級改革ドキュメント。

今までぶつかった子どもたちが、「ことばを通して、お互いを認める集団になり、学校で学び合うために大切なことを学んでいく。自分を表現し、相手を理解することは、人が生きて行く上で必要な力です。

話し方や聞く態度など、普段の生活から生かせるキーワードがたくさんあるので、多くの方に読んでもらいたい。

そして、「人が育つコミュニケーション」を日常生活に取り入れてみませんか？



## 世界からボクが消えたなら —映画「世界から猫が消えたなら」キャベツの物語—

看護学部 2年 青山 倫子

〈学生作成POP〉

著者：川村 元気(原作)、涌井 学(著)  
出版社：小学館  
発行年月：2016年5月

余命わずかと宣告されたご主人さまは、自分と同じ姿をした悪魔と取引をした。「この世界からモノを一つ消す。そのかわりに、キミの命を一日ぶんだけのぼす」と。

この本は、映画『世界から猫が消えたなら』を飼い猫キャベツの視点で描いた物語です。明日死んでしまうかもしれない飼い主を見つめながら、キャベツは何を考えていたのか。とても切なく、とてもあたたかい物語。大切なことに次々と気づかされて、自然と涙が溢れてきます。

原作や映画を観た方はもちろん、観たことがない方にもオススメの一冊です。





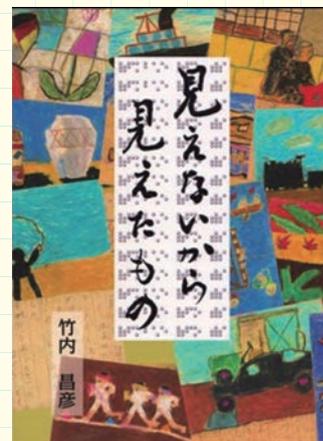
## 見えないから見たもの

社会福祉学部 2年 浅井 光

〈学生作成POP〉

著者：竹内 昌彦  
出版社：竹内 昌彦  
発行年月：2012年11月

この本は、視覚障がいの方が書かれたものです。一度、作者の講演を聞いたことがあります。とても前向きで明るい方です。人生の様々なエピソードから、健常者では知り得ないことを目の当たりにし、障がい者問題について考えさせられます。周囲の人達から助けを借りつつ、いじめをなくすこと、視覚障がい者にとって必要なことなどについて呼びかけています。また、懸命に生きる姿に「生きる意味」「命の尊さ」を教えてくださいます。ぜひ、たくさんの人に読んでもらいたいです。



## 真夜中の探偵

発達教育学部 2年 宮脇 彩

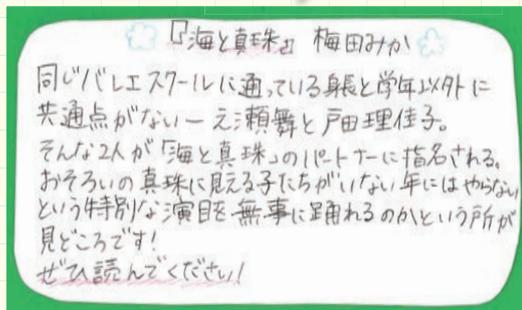
この本も  
おすすめです！

著者：有栖川 有栖  
出版社：講談社  
発行年月：2014年8月

探偵行為が法律で禁止されている日本を題材としている本で、空閑純の両親は、有名な探偵だった。しかし母親は行方不明で、父親は逮捕、収監されています。純は行方不明の母親の手がかりを探しながら、両親のことをよく知る人物と会います。そんな時、その人物の別邸で事件が起こり、純が解決していく本です。

事件を解決し、探偵として一步を踏み出せるのか、母親と再会できるかというところが見所です。ぜひ読んでみてください。

〈学生作成POP〉



## ロベルト・ジョビーのカード・カレッジ 1

看護学部 1年 藤堂 慧一

〈学生作成POP〉

著者：ロベルト・ジョビー(著)、加藤 友康(訳)  
出版社：東京堂出版  
発行年月：2000年9月

カードマジックを始める時、最初に読むべき本はこの本です。この本における情報の量、正確さ、重要度、そして読み取りやすさは数ある書籍の中でも段違いです。指先の配置、その指先にかけるほんの些細な力加減、スピード、タイミングなどのミクロな部分はもちろんのこと、体全体の動き、視線の配り方、セオリーなどのマクロな部分まで、幅広く学び取れます。この本とちゃんとしたトランプを持ってカードマジックを始めましょう！



## 研究紹介

2015 年度  
日本社会福祉学会学会賞 受賞

関西福祉大学 社会福祉学部  
教授 **中村 剛** 先生



社会福祉って何だろう。こう思える人はいると思います。なかには、こうした問題意識をもって本を読んだり、授業を聞いたりしてくれる人もいるかもしれません。しかし、社会福祉を学んでいく中で、冒頭の問いは、徐々に問われなくなっていくと思います。こうした傾向とは別に、「社会福祉とは何だろう」という問いを、自分が心底納得するまで、もっとも根源的なところから、何年も何十年も徹底的に考え続ける営み、それが福祉哲学です。とはいえ、どうやって問い続けられるのか。福祉哲学はどうやって行っていくのか。この問いに対して、「福祉哲学とは、こうして行っていくものである」と示したのが『福祉哲学の継承と再生』です。

科学を軸とした学問は答えを求めます。みなさんも大学のテストで答えを求められます。しかし、そうした営みのもっと手前にある、「そもそもこれってどういうことなんだろう」、「なぜ、これはこうなっているのだろう」など、問いに気づく力、問いを見出す力も大切です。「問うこと」、「問うことで、本当にそれはそうなのか吟味すること」、これが哲学です。『福祉哲学の継承と再生』は、端的に言って難しいです。ぜひ読んでみて下さい、と気軽にお勧めできる内容ではありません。しかし、本書の存在を通して、「哲学することは大切かも」と思ってもらえたら、嬉しいです。

### Check

日本福祉学会  
学会賞とは？

一般社団法人日本社会福祉学会学会賞（学術賞）は、日本社会福祉学会創立 50 周年を契機に、社会福祉研究の一層の発展を図るため、顕著な研究業績をあげた学会員の研究奨励を目的として創設された賞である

## 情報発信

### 図書館データ

- 蔵書数 73,141 冊（うち外国書 9,806 冊）
- 年間受入図書 1,236 点
- 年間受入雑誌数 226 種（うち外国書 82 種）
- 年間受入新聞種数 13 種（うち外国紙 3 種）
- 視聴覚資料 3,261 点
- 年間館外個人貸出 12,475 点（うち学生貸出点数 9,194 点）
- 年間入館者数 44,500 人
- オンラインデータベース 10 種

（2015年3月31日現在）

### 学生証と図書館利用者カードがひとつになっています

2015 年度より学生の図書館利用者カードが学生証と合一化され、学生証の裏面に図書館利用者カードが印刷されています。図書館ご利用の際には学生証（兼図書館利用者カード）をご持参ください。なお、学外利用者用の図書館利用者カードに変更はありません。

### 開館日・開館時間を変更しました

かねてよりご要望がありました看護師国家試験日までの開館について、後期授業終了日から看護師国家試験日前日までの平日開館時間を延長しました。詳しい開館日・開館時間は関西福祉大学図書館のホームページをご確認ください。

### 図書館管理システムを更新しました

図書館の蔵書や貸出返却のデータを安定的に管理し、大量のデータを迅速に処理するため図書館システム CARIN を CARIN-i に更新しました。

お問い合わせ先 TEL：0791-46-2506（図書館）

図書館ホームページ <http://www.kusw.ac.jp/general/affiliated/library>

## 編集後記

本号は 2014 年 4 月より図書館長に就任された森川直先生のご急逝を悼み、急遽「図書館長 森川直先生追悼号」として発行することとなりました。森川先生は図書館職員からの報告や相談に耳を傾けられては、学生や図書館にとってよりよい方法をご教授くださいました。今後はその御遺志を受け継ぎ、新館長に就任された秋川陽一先生の下、より充実した利用しやすい図書館となるよう努めていきます。〈S〉